

# ABPT決勝戦に向けてのチーム戦の手引書

今回のレギュレーションはかなり特殊です！よく読んで十分に作戦会議をしてください！

## ● プレーに関して

テキサスホールデムポーカーのトーナメントで、チーム戦を戦う場合、普段慣れている個人戦とは異なる戦い方がベターとされるシチュエーションがあります。これはチーム内でのトラブル回避のためでもあります。

- ★ 例1) チーム内でのヘッズアップや3wayなどになった場合、特定のプレイヤーにチップを集めたい場合をのぞき、チェックで回し続けることが通例とされています。無意味な戦いを避けるためです。
- ★ 例2) 3wayで2対1の状況になったとき、味方同志でレイズリレイズを繰り返して、相手をフォールドに追い込む手法があります。
- ★ 例3) 個人順位による選手契約はありませんので、チームメイトを差し置いて自分の順位をあげるプレーをする必要はありません(個人1位輩出チームへの選手契約はあります)

## ● サインプレーに関して

サインプレーは他者を不快にさせるようなものを除き、今大会では容認されています。効果的に用いると、敵にバレないように味方に情報を伝達できますが、逆に味方を混乱させるかもしれません。十分に作戦会議をする必要があります。

- ★ 例1) 「ベットやレイズしたとき、左耳を触っていたらナッツを持っている」
- ★ 例2) 「腕組みをしていたらドロワーを持っているのでレイズしてほしくない」

## ● 口頭での嘘やハンドに関して発言することに関して

口頭での嘘やハンドに関して発言することはポーカーでは禁止されていますが、今回のレギュレーションでは容認されています。効果的に用いると敵を錯乱させることができますが、むやみに嘘をつくとも味方を惑わせてしまう可能性もあり、十分に作戦会議をする必要があります。ただし、他者を不快にするものは禁止です。TDの判断でペナルティを課される場合があります。

- ★ 例1) 事前に「俺はいまドロワーが滑った！」と言ったらナッツを持っているという合図 にしておく。
- ★ 例2) 事前に「俺はいまトップヒットだけ！」と言ったらセットが刺さっているという合図にしておく
- ★ 例3) 事前に「俺はいまKKを持っている」と言ったら本当にKKを持っている

## ● 反則行為に関して

- ★ 他者を不快にさせる行為や言動

例1) 「あいつは下手だからレイズすれば降りてくれる」

例2) 「あいつは〇〇店のプレイヤーだからどうせブラフだ」

例3) サインプレーだという理由で中指を立てる

例4) 「お前がレイズしなければ俺はガットを引いていた！お前のせいで負けた！」

- ★ 自分のハンドを自分以外のプレイヤーに見せる行為

プレイヤーの後ろに立っての観戦を禁止します。いかなる理由においても、チームメイト・敵チーム・観戦者などにハンドを見せてはいけません。ただし、TDはハンドを確認する場合があります。

※例は一部です。